

# ART テクニカル運用日本株式ファンド

追加型投信／国内／株式／特殊型(その他型(テクニカル運用モデル型))

ART(アート): Attractive Robot Technology



## 【ご留意事項】

- 本資料は住信アセットマネジメントがファンドへの理解を深めていただくために作成した資料であり、金融商品取引法にもとづく開示書類ではありません。購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)および契約締結前交付書面の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様にご帰属します。
- 投資信託は預金等や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 本資料中の図表やデータ等いかなる内容も本資料作成時点のものであり将来の運用成果を示唆あるいは保証したり、その正確性、完全性を保証するものでもありません。

◆目論見書のご請求、お申込みは

## 岡三証券

商号 岡三証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号  
加入協会 日本証券業協会

◆設定・運用は



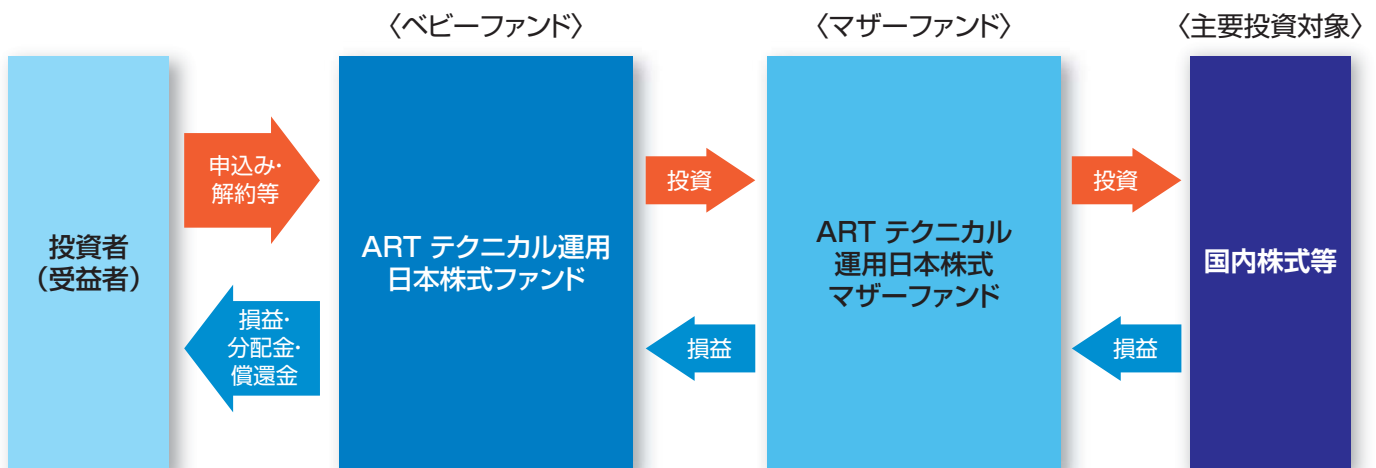
## 住信アセットマネジメント

商号 住信アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第347号  
加入協会 (社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

## ファンドの特色

**特色 1** 主として「ART テクニカル運用日本株式 マザーファンド」への投資を通じて、複数の投資判断モデル(以下「ロボット」といいます。)を使ってわが国の株式に投資し、ファミリーファンド方式で運用を行います。

### ファンドのしくみ



※ART(アート)：Attractive Robot Technology

※マザーファンドの運用にあたっては、企業年金の運用等で国内外から定評のある住友信託銀行からモデルポートフォリオの提示等の投資助言を受けます。

**特色 2** ファンドは、日経平均株価に採用されている銘柄の中から、あらかじめプログラムされた各ロボットの投資判断基準をもとに、上昇局面と判断される銘柄を組み入れ、機動的に運用を行います。

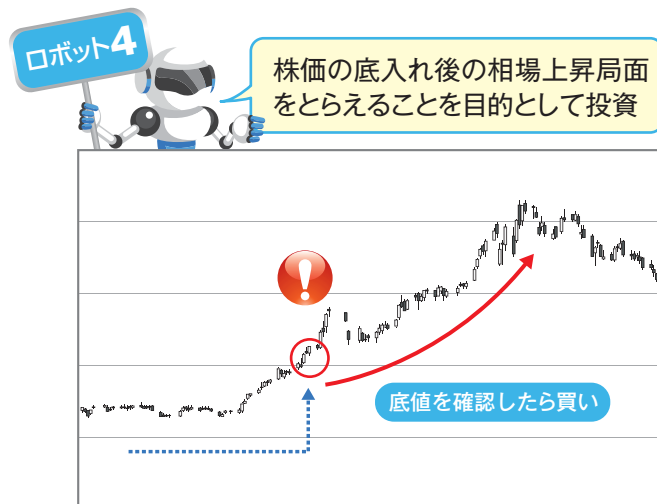
### 一般的な株式ファンドとの違い

	一般的な株式ファンド	ART テクニカル運用 日本株式ファンド
<b>投資手法</b>	企業の財務諸表等から投資判別を行う、中長期的な投資手法	過去の株価の値動きをもとに、上昇局面と判断される銘柄を機械的に売買する投資手法
<b>判断基準</b>	主にファンダメンタル分析による判断	テクニカル判断のみ(投資判断は全てロボット)

- 信用リスクが高い等、投資対象として適切でないと判断された銘柄は除外します。
- 各ロボットは、企業業績や株価バリュエーション(PER(株価収益率)やPBR(株価純資産倍率)等)は考慮せず、個別銘柄の値動きをもとに上昇局面をとらえることを目的とした投資判断モデルです。
- 各ロボットの投資判断基準をもとにファンドに組み入れられた銘柄は、ロボットごとに事前に決められた投資期間が終了した時点で売却されます。
- 信用取引による売建ては行いません。

## ロボットの紹介

ロボットは下落相場であっても損失を抑制するように設計されており、また、複数のロボットを活用することによって、株価の上昇局面をとらえます。



インデックスが値下がりする中でも、  
上昇する銘柄は存在

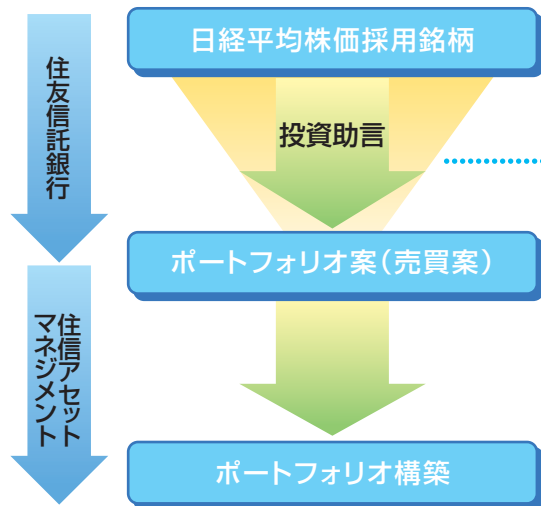


インデックスそのものを投資対象とはせず、テクニカル面から上昇が期待できる銘柄へ投資

※上記のチャートは特定の銘柄のチャートを示唆するものではありません。  
※各ロボットのしくみは当初設定時のものであり、今後追加または変更となる可能性があります。

## マザーファンドの投資プロセス

住友信託銀行が独自に開発した複数のロボットが、それぞれのプログラムに基づいて銘柄を選定し、住信アセットマネジメントがポートフォリオ構築を行います。



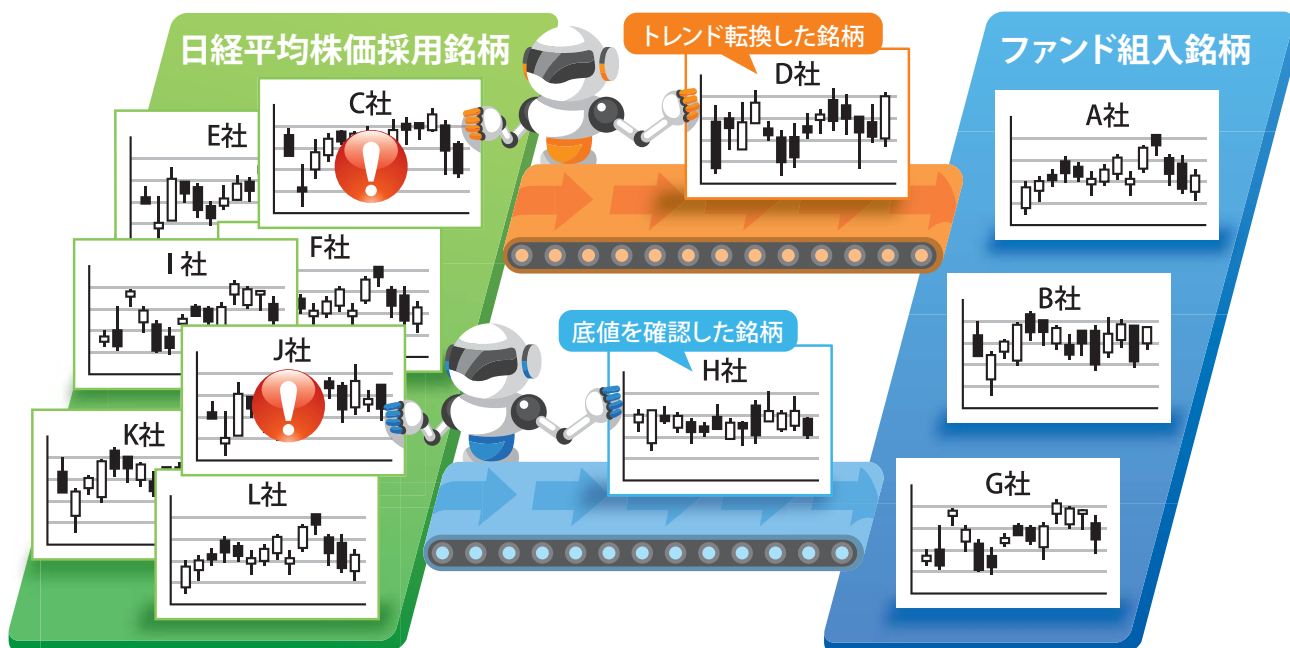
- ・独自に開発したコンセプトの異なる複数のロボットが、それぞれのプログラムに基づいて機械的に買付銘柄を決定
- ・各ロボットのリスクが等しくなるように投資比率を調整  
\*投資比率=(1/ロボットのリスク)÷(1/各ロボットのリスク)の合計
- ・あらかじめロボットごとに定められた投資期間が終了した銘柄は機械的に売却
- ・株式の組入比率は、純資産総額の0~100% (過去平均で30%程度\*)  
\*ロボット運用によるモデルポートフォリオのシミュレーションの結果であり、実際のファンドの実績とは異なります。

※信用リスクが高い等、投資対象として適切ではないと判断された銘柄は除外します。  
※各ロボットのしくみは当初設定時のものであり、今後追加または変更となる可能性があります。

## ポートフォリオ構築のイメージ

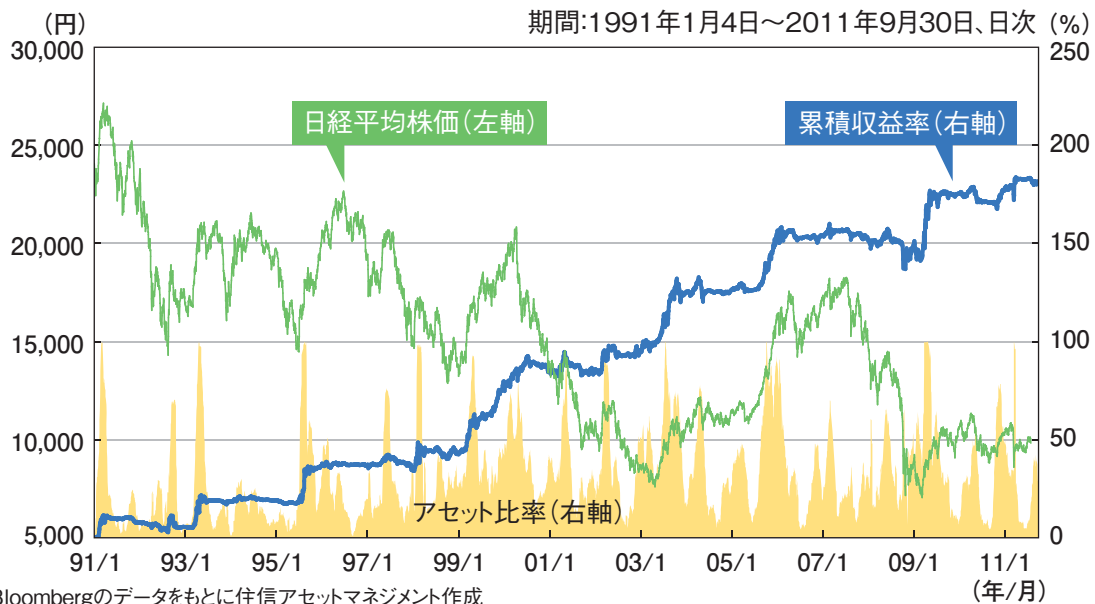
- ・独自に開発した複数のロボットが、それぞれの基準で銘柄を選びます。
- ・株式の組入比率は、純資産総額の0~100%(過去平均で30%程度\*)です。

各ロボットがそれぞれの基準で銘柄を選びます。



※株式の売買の判断は、複数のロボットを組み合わせることで機動的に行います。その結果、株式の実質組入比率は、信託財産の純資産総額に対して大きく変動し、ゼロとなる場合もあります。株式以外の資産への投資は、わが国の円建短期公社債等を中心に行います。

## 過去20年間のシミュレーション (ロボット運用によるモデルポートフォリオの累積収益率のイメージ)



(出所) Bloombergのデータをもとに住信アセットマネジメント作成

※「日経平均株価(日経平均、日経225)」とは、東京証券取引所第一部に上場されている銘柄のうち、代表的な225銘柄の株価を平均した株価指数であり、株式会社日本経済新聞社によって独自に開発された手法によって、算出される著作物です。「日経平均株価(日経平均、日経225)」に関する著作権、知的所有権その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。なお、日本経済新聞社および日本経済新聞デジタルメディアは本商品を保証するものではなく、本商品について一切の責任を負いません。

※モデルポートフォリオとは、日経平均株価採用銘柄の過去データに対してシミュレーションを行い、原則として買いサインが発生した翌日に購入し一定期間経過後に売却したと仮定して所与の条件のもとで作成したポートフォリオです。

※アセット比率とはモデルポートフォリオの純資産総額に対する株式の簿価の割合のことです。また累積収益率はモデルポートフォリオのもので、実際のファンドの累積収益率とは異なります。

※上記はロボット運用によるシミュレーションの結果をあらわしたものであり、ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

### 本ファンドの投資リスク

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。投資信託は預貯金と異なります。基準価額の変動要因となるリスクには主に次のようなものがあります。

#### 株価変動リスク

株式の価格は、発行者の業績、経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動し、基準価額の変動要因となります。

#### その他のリスク

ファンドは、複数の投資判断モデルを使って機動的な運用を行いますが、市場環境等によってはモデルが十分に機能せず、基準価額の変動要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

#### その他の留意点

- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用するため、マザーファンドに対し、同じマザーファンドに投資する他のベビーファンドによる追加設定および一部解約等があり、マザーファンドにおいて有価証券の売買等が発生した場合、基準価額に影響を与えることがあります。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 分配金は信託財産から支払われるため、分配金支払い後の信託財産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益や売買益等)を超えて分配を行う場合があり、分配金の水準は必ずしも当該計算期間の収益率を示すものではありません。またこの場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。受益者の個別元本の状況によっては、分配金の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。

ご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## お申込みメモ

購入申込期間	【当初募集期間】平成23年11月14日から平成23年11月25日 【継続募集期間】信託設定日以降
信託期間	原則として平成23年11月28日から平成30年11月26日
決算日	原則として毎年11月25日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に収益の分配を行います。 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。市況動向の影響を受けて変動するため、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配対象額が少額の場合、分配を行わないことがあります。
購入単位	1万口以上1万口単位
購入価額	【当初募集期間】1口あたり1円 【継続募集期間】購入申込受付日の基準価額とします。
換金単位	1万口以上1万口単位
換金価額	換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額とします。
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して4営業日目からお申込みの販売会社でお支払いします。
申込締切時間	原則として販売会社の営業日の午後3時までの受付とします。この時間を過ぎてのお申込みは、翌営業日の取扱いとなります。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。

## 本ファンドの費用

### ▼ お客様が直接的にご負担いただく費用

#### 購入時 購入時手数料

購入価額に以下の手数料率を乗じて得た額とします。

5,000万口未満	<b>3.15%(税抜3.00%)</b>
5,000万口以上1億口未満	<b>2.10%(税抜2.00%)</b>
1億口以上5億口未満	<b>1.05%(税抜1.00%)</b>
5億口以上	<b>0.525%(税抜0.50%)</b>

#### 換金時 信託財産留保額

換金申込受付日の基準価額に**0.3%**の率を乗じて得た額とします。

### ▼ お客様が間接的にご負担いただく費用

#### 保有期間中 運用管理費用 (信託報酬)

純資産総額に対して**年率1.47%(税抜1.40%)**

#### 保有期間中 その他の費用・ 手数料

監査費用、有価証券の売買・保管、信託事務にかかる諸費用、マザーファンドの換金に伴う信託財産留保額等についてもファンドが負担しますが、これらの費用は、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

## 委託会社および本ファンドの関係法人

- 委託会社： 住信アセットマネジメント株式会社  
[ファンドの運用の指図]  
フリーダイヤル 0120-417434(ヨイナ、スミシン)  
(受付時間は営業日の午前9時～午後5時)  
ホームページアドレス <http://www.sumishinam.co.jp/>
- 受託会社： 住友信託銀行株式会社(再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)  
[ファンドの財産の保管および管理]
- 販売会社： 岡三証券株式会社 他  
[募集・販売の取扱い、目論見書・運用報告書の交付等]